

アーステクニカで注力するテーマ

注力するテーマ	関連するSDGs	活動方針	2030年までの目標 及び指標 (KPI)	実施・進捗状況 (2025年8月31日現在)
【リサイクル・再資源化と、 環境貢献度の高い技術・ 製品の開発・提供】 ～人と環境にやさしい 未来の創出～	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ”エネルギーをみんなにそしてクリーンに”	脱炭素社会実現のためには、選別・リサイクル率の向上が今後も加速していくと考えます。当社では次の既存製品を基礎として、当社の所属する川崎重工グループや他企業と協力連携し新たな製品の開発に取り組めます。 ○ RPF製造設備 (古紙と廃プラスチックから固形燃料を生成し、石炭の代替燃料としてCO2削減に貢献している) ○ マテリアルリサイクル設備 (容器包装材などの廃プラスチックを洗浄・破碎・選別・ペレット化して再資源化している) ○ 建設廃材リサイクル設備 (コンクリート・アスファルト廃材を破碎・選別しリサイクル材へ再資源化している) ○ シュレツダ設備 (廃自動車など金属スクラップを破碎・選別し、金属材料へ再資源化している) ○ 連続式製剤システム (設備重量・設置面積の軽減により、製造工程と製品性能の両面でエネルギー、CO2排出量、劇物となる廃棄量を削減している)	プラスチック資源循環促進法に基づき、環境・社会課題の解決に向けての新たな資源循環を考慮した選別・リサイクル技術の確立、製品化。	硬質プラスチック、軟質プラスチックの高度選別装置の開発を進めています。シミュレーションでは好評価が得られているため、試験機による所定の条件のもとでの検証を継続します。
	9 産業と技術革新の基盤をつくろう ”産業と技術革新の基盤をつくろう”		建設現場で排出された廃棄物の中で、最終処分率が最も高い建設混合廃棄物(がれきや木くず、金属くず等が混在した廃棄物)の、リサイクル率を向上させるための選別・リサイクル技術の確立、製品化。	建設混合廃棄物の選別・リサイクル技術では、選別技術の高度化を進めています。高度選別機を用いたプラント設備の提案を、お客様に向けて行っています。
	11 住み続けられるまちづくりを ”住み続けられるまちづくりを”		建物解体により発生したコンクリート廃材に含まれる骨材(砂利や砂)を、生コンクリート用にリサイクルする骨材再生技術、および破碎プロセスの効率性を高める技術の確立、製品化。	コンクリート用骨材再生技術では、製品ラインナップしている再生粗骨材製造ユニットのブラッシュアップを進めています
	12 つくる責任 つかう責任 ”つくる責任 つかう責任”			省エネ性能を備えた自走式破碎機「SEASER」の拡販を進めます。なおSEASERは、2025年7月31日に日刊工業新聞社主催の『第55回 機械工業デザイン賞 IDEA』で、審査委員会特別賞を受賞しました。
	13 気候変動に具体的な対策を ”気候変動に具体的な対策を”		製鉄会社にて需要が高まりつつある石炭を使用しない電気炉製鋼法において、製鋼原料となる鉄スクラップの破碎・選別技術の確立、製品化。	電炉に使用される、強靱な鉄スクラップを破碎できる大型シュレツダを開発しました。これからも鉄鋼業界の市場ニーズに応えることで、脱炭素社会の実現に貢献していきます。
			【指標 (KPI)】 環境貢献度の高い技術・製品の納入件数	【指標 (KPI)】 2024年度は15件納入しました。
【地域社会・環境への貢献】 ～企業と地域が調和した 未来の創出～	1 貧困をなくそう ”貧困をなくそう”	自治体と一体となり、居住や生活先としてふさわしい地域環境を整えるために、様々な形で社会貢献を考え実行していきます。 また環境活動については、脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギー発電設備の導入によりCO2削減と当社および地域での有効活用に取り組めます。	当社では、左記の活動方針を踏まえて全従業員がSDGsに対する理解を深めていくことを目標に置いています。	八千代市社会福祉協議会の子ども支援事業「ふらっとホーム」3団体へ、春・夏・冬にわたり食材提供や従業員による募金・寄附を行いました。継続的な支援に対して、団体からは感謝のお言葉をいただいております。 勝田台駅にて地元高校とのコラボ広告の掲示や、「八千代新川千本桜 染井吉野エコライトアップ」へ当社EVバスを貸出協力するなど、地域と密着した活動を展開しています。 SDGsへの理解を深めるため、当社幹部向け研修を行いました。この研修は今年度から全従業員を対象に実施していくとともに、社内講師の育成も進めています。 鋳鋼工場に大型空調設備を導入し、快適な職場環境を整備しました。従業員の健康と安全を守りつつ生産性を高めることで、これからも持続可能な企業であり続けます。
	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ”エネルギーをみんなにそしてクリーンに”			
	8 働きがいも経済成長も ”働きがいも経済成長も”			
	11 住み続けられるまちづくりを ”住み続けられるまちづくりを”			
	13 気候変動に具体的な対策を ”気候変動に具体的な対策を”			
			【指標 (KPI)】 地域貢献、環境活動の実施件数	【指標 (KPI)】 2024年度は5件実施しました。

当社SDGsへの最近の取り組みは、次のWEBサイトから閲覧できます。

https://www.earthtechnica.co.jp/eco/recent_efforts/